

DO FOR OTHERS
150TH
ANNIV.



MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
明治学院大学

2010年2月3日

マスコミ関係各位

明治学院大学×白金志田町倶楽部

記憶と地域をつなぐアートプロジェクト「こころのたねとして 白金高輪 2010」

今、私たちが関わる場所、通り過ぎる場所、立ち止まる場所について、私たちはどの程度知っているのでしょうか。現在、明治学院大学のキャンパスが位置する白金地域は、再開発やマンションブームにより新しい住民が増え、地域での交流に無関心が生じています。また、白金といえば「シロガネーゼ」のイメージが先行し、「志田町」に代表される下町人情の残る庶民的風景は急速に消え、遠い記憶の中に埋もれつつあります。

そうした中で地域にゆかりのある方の暮らしや営みに学生(若者たち)が触れ、そこに暮らすひと、そこにあるモノ、そこで起こるコトに出会い、聞き取りを行いながら、町と人の過去をとどめ、未来に向けて、モノガタリとして紡ぎだすワークショップ「こころのたねとして 白金高輪 2010」を開催いたします。

明治学院大学学生が白金高輪とゆかりある人々を訪ね、そこで出会った人々と共に過ごした時間の中で聞いたこと、感じたことから、その人と白金高輪との絆を詩として表現します。また、詩の朗読パフォーマンスの後は、詩を作った学生の代表と、交流を持った方々の代表、NPO 法人「こえとことばとこころの部屋」の三者が白金高輪の「場所の力」をテーマにトークセッションをおこないます。

今回、教員と学生が地元の方と相談して選ばせていただいた10名の人々は、白金高輪とゆかりがあり、この地域の情景を感じさせる人々で、町工場で働く人、職人、商店街関係者、婦人会関係者、外資系企業で働く女性など様々。10名の学生一人一人が各仕事の現場で出来る限りのお手伝いをしながら、お話を伺い詩をつくります。会場は古くから人々に馴染まれた「四の橋市場」、町行く多くの人々にも「白金高輪」という場所との絆を感じていただきます。

テーマ : 「こころのたねとして 白金高輪 2010」詩の朗読パフォーマンス、トークセッション

日時 : 2010年2月7日(日) 15:00~17:00

場所 : 東京都港区白金商店会四の橋市場(白金高輪駅から徒歩5分)

参加費 : 無料(出入り自由)

主催 : 明治学院大学国際平和研究所×白金志田町倶楽部

共催 : 明治学院大学教養教育センター附属研究所「アートを通じた新しい教育の探究」

協力 : 白金商店会、魚らん商店会、NPO 法人こえとことばとこころの部屋、みなとケーブルテレビ

※「こころのたねとして」とは、NPO 法人「こえとことばとこころの部屋」が考案したワークショップで、地域に生きる人の、その人生を聴きとり、言葉や声や、身振りとして現前させ、そこに立ち会った人びとが、共にその土地との絆を結びなおす試みです。

問合せ先 : 明治学院大学国際平和研究所 Tel.03-5421-5652

■取材のお問い合わせは…

明治学院大学 広報室 担当:石井、圓道

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37

Tel:03-5421-5165(直通) Fax:03-5421-5185

koho@mguad.meijigakuin.ac.jp <http://www.meijigakuin.ac.jp>